

平成18年度研究ステーション研究成果報告書

1. 研究ステーション名： コミュニティ協働システム研究ステーション
代表者名： 福田 豊

2. 平成18年度の研究の特筆すべき成果

サステナブルは社会の構築のためには、CSR（企業の社会的責任）とコミュニティのIT支援による連携が必要であること、CSRではとりわけステイクホルダーエンゲージメントにおけるコミュニティとの協働関係の形成が課題になっていることが明らかになった。

3. 平成18年度の研究成果の公表実績（主催した研究会、研究成果の発信状況等）

【研究会】

平成18年度社会技術研究開発事業（独立行政法人 科学技術振興機構）研究開発プログラム「ユビキタス社会のガバナンス」、および日本社会情報学会情報社会経済システム研究部会の「ユビキタス社会とCSR」ワークショップを共催にて開催した。

詳細は下記の通りである。

● 「ユビキタス社会とCSR」ワークショップ

日時 平成19年3月15日（木） 14:00-17:00

会場 国立大学法人電気通信大学 創立80周年記念会館「リサーチ」3階
<<http://www.uec.ac.jp/acc/map.html>>

主催 電気通信大学（人間コミュニケーション学科福田豊研究室）

共催 電気通信大学コミュニティ協働システム研究ステーション
日本社会情報学会情報社会経済システム研究部会

費用 無料

プログラム

14:00-15:00 基調講演「CSRが問いかけるものー持続可能な社会への課題ー」
谷本寛治（一橋大学大学院商学研究科教授）

15:00-15:15 JSTプロジェクト「市場と非市場を繋ぐ価値転換システムに関する研究」
におけるCSRの位置づけについて
福田 豊（電気通信大学人間コミュニケーション学科教授）

15:15-15:45 取り組み企業からの話題提供
テーマ「CSRの課題」

山口秀和（セブン&アイ HLDGS.総務部環境推進シニアオフィサー）

15:45-16:00 コーヒーブレイク

16:00-17:00 ディスカッション

【研究成果の発信】

公開研究会（ワークショップ）の概要を、「第1回ワークショップ（公開研究会）報告書」にとりまとめ、参加者および関係各方面に配付した。

4. 外部資金の獲得状況

なし

5. 今後の研究発展（外部への発信、外部資金獲得計画を含む）

引き続き CSR とコミュニティとの協働システムについて研究を進め、知のコモンズへの展開を図る。

6. 代表的なピアレビュー論文発表、学会プレナリ、招待講演発表、特許出願、受賞等

なし